



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

R.I. 会長テーマ 「ロータリーのマジック」

R.I. 会長 ステファニー・A.アーテック

2024～
2025年度
テーマ

R.I.2720地区テーマ 「寛容な心でロータリーの未来、
そして若者の未来を考えよう」

R.I.2720 地区 ガイナー
三村彰吾

熊本G.R.C.テーマ 「ロータリーに目的を持ち
人生を豊かにしよう」

熊本グリーンRC会長 宮部康弘



■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：宮部康弘 ■幹事：河島一夫 ■会報担当：田中慎二
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第1551回

2024 - 2025 年度 第26回

令和7年3月3日

【例会】

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

- ・「君が代」
- ・友と語ろう（グリーンRCの歌）

友情の握手

会長挨拶（宮部康弘会長）

皆さんこんばんは。本日は会員増強クラブフォーラムという事で山口委員長、どうぞよろしくお願ひいたします。新しい仲間として山口悦史さんが入会され、おそらく今月末には先日ご来訪いただいた田上さんもご入会になると思います。新しい仲間も着実に増えていますが、残念ながら3名の退会者もあり、今年度はまだ純減となっている状況です。グリーンロータリー4040計画の為には最低でもあと5名の新規会員をお迎えしなければなりません。皆さんご協力よろしくお願ひいたします。私が日頃、ロータリークラブにお誘いする際にどのようにお伝えして

いるかを共有したいと思います。

山口悦史さんの時は「ロータリーに入ってください」「はい、喜んで」だけでした。ご本人のタイミングもあったと思いますが、一緒に活動したい方にはまず声かけをしてみる、という事が大切という事です。そして、田上さんの時はまず現在異業種交流会に入っているか、を確認しました。次になぜ私がロータリークラブに入会したか、私の人生においてロータリークラブをどのように捉えているか、など丁寧にお伝えしました。その中で「ロータリークラブは手段であって目的では無い、人生を豊かにする事を目的としてロータリークラブを活用している」という事をお伝えしています。もちろんロータリークラブがどのような団体であるかも説明は致しますが、やはり関心がある事は「何が得られるのか」だと思ひます。ここでも重要なポイントもお伝えしています。それはロータリーを含めすべての異業種交流会は何も与えてくれない、という事です。何かを与えてくれるのを待つのではなく、自ら何を得られるのか、という思考と行動が大切である、

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか事をお伝えはしていません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓話予定

- 3/10 河野 景治 会員卓話
- 3/17 会長エレクト研修セミナー報告 山口 翼 会長エレクト
- 3/24 「観桜例会」（於：和食「仲むら」）
- 3/31 定款第7条第1節に基づき 例会休会（5週目の為）

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

どんなに素晴らしい団体であっても受身では何も得る事はできません。そして、私の最後の決め台詞は「ロータリークラブに加入した5年とそうでない5年の人生は大きく違いますよ」です。私はこのような話をしています。もちろん加入されない方も多々おられますが、そんな事は関係ありません、大切なのはロータリークラブのある人生の選択肢をお伝えしてあげる事です。ぜひ今回のフォーラムをきっかけに明日から周囲の方々に提案していきましょう。では、本日もよろしくお願いたします。

幹事報告 (河島一夫幹事)

■ 報告事項

例会終了後、定例理事会が開催されます。理事・役員はお残り下さい。

<例会変更・取り止め>

● 例会変更

[熊本南 RC]

3月24日(月)の例会は、花見の会例会のため、同日18:30より、とくなが中の瀬本店にて行います。

[熊本江南 RC]

3月12日(水)の例会は、時間を変更し、同日12:30より行います。

3月26日(水)の例会は、お花見例会のため、同日18:30より完全個室居酒屋「星」にて行います。

[熊本北 RC]

3月20日(木)の例会は、観桜例会のため、3月26日(水)18:00より、割烹「火の国」にて行います。

● 例会取止め

[熊本南 RC]

3月17日(月)と3月31日(月)の例会は、定款に基づき、取り止めます。サイン受付は致しません。

慶事

(田中慎二クラブ管理運営委員 (親睦担当長))

3月お誕生日お祝い

十時 義七郎 S3. 3.31
 田中 純司 S30. 3. 2
 宮部 康弘 S47. 3. 13
 西本 周平 H元. 3.24
 湯上 裕盛 H元. 3.28
 十時 貴子 3.21
 栗山 節子 3. 5



Happy Birthday, dear fellows!

出席報告

(クラブ管理運営 山口悦史 会員)

	会 員 総 数	19名	出 席 率
3月3日	出席免除会員数	0名	63.16%
	計算上会員数	19名	
	出席会員数	12名	
2月4日	前回の出席会員数	12名	68.42%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	13名	
メイクアップ済会員及メイクアップ訪問先			
・2/26 熊本東南RC 山下君			

スマイル

(山下佳介スマイル担当)

● 宮部康弘 君、河島一夫 会員

「本日は会員増強フォーラムです。グリーンロータリー40・40計画を実現する為、力を合わせて声掛けしましょう！」

●山口 翼 君

「本日は会員増強クラブフォーラムです。40・40計画に向けよろしくお願ひ致します。」

●田中 純司 君

「本日は誕生祝ひありがとうございます。昨日3月2日で70才になりました。お礼のスマイルです。」

●荒木一之 君、栗山義則 君、山下佳介 君

「今日は会員増強クラブフォーラムです。3年間委員長をさせて頂きました（山下）。今年度は山口翼会員が委員長となりとても楽しみにしています。」

3. 例会プログラム

会員増強クラブフォーラム

山口 翼 会員増強委員長



山口 翼 会員増強委員長

4. 閉会・点鐘

* 例会終了後、定例理事会開催



水と衛生月間 リソースのご案内

(Water, Sanitation and Hygiene Month)

➤ 水と衛生

安全な水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利。なのに、汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子どもたちは、水汲みなどの労

働によって学校に通えず、つらい境遇を強いられています。

私たちの活動は、井戸を掘るだけではありません。安全な水と衛生設備を提供した上で、衛生や伝染病予防に関する教育も行うことで、コミュニティ全体の生活を改善し、子どもの通学率を高めています。

ロータリーはこんな活動をしています

会員の世界的ネットワークを通じて、世界各地の人びとと協力して教員研修やカリキュラム作成を行うだけでなく、家庭と学校の水・衛生設備の改善を通じて、子ども（特に女子）への教育を改善しています。

フィリピンでのトイレの設置

フィリピンでは、ロータリークラブとパートナー団体が、222のトイレ、6つの雨水集水機、7つの公衆手洗い場、20のバイオ・サンド・フィルターを設置しました。このプロジェクトによって、1,000人以上の人たちがトイレ施設を利用できるようになったほか、約600人に安全な水を常時届けられるようになりました。



* 詳しくは、こちらをご覧ください。但し、英語での記事です。

<https://rotaryserviceblog.org/2017/03/13/from-over-there-to-over-here-access-to-toilets-changes-lives/>

学校の子どもたちをもっと健康に

レバノンの全24クラブは、宗教、文化、政治的な垣根を超え、政府、World Vision、ユニセフ、赤十字とパートナーシップを構築し、国内すべての公立学校に安全な水を提供するプログラムを立案しました。



学校の子どもたちをもっと健康に

地域社会のために

パプアニューギニアでは、ロータリークラブが地元の団体と協力し、4,000人の人たちが利用できる雨水貯水タンクと配水センターを設置しました。また、地元の女性や35校の学生に研修も提供しました。



地域社会のために

きれいな水の力

ロータリー財団は、地元や海外でのプロジェクトや活動のための補助金を提供することで、世界に変化をもたらしています。

ロータリーとUSAIDパートナーシップ：ロータリーは米国国際開発庁（USAID）と提携して、ガーナ、マダガスカル、ウガンダで水と衛生設備を慶全する持続可能な長期的プロジェクトを実施しています。

「学校でのWASHターゲット・チャレンジ」：ロータリーは、水、衛生設備、教育に関する持続可能なプロジェクトを、ベリーズ、グアテマラ、ホンジュラス、インド、ケニアの5カ国で立ち上げるよう会員に呼びかけています。

WASHプロジェクト：ロータリー財団は2013年から、100カ国余りで実施されている1,000件以上のWASHプロジェクトに投資しています。財団からの補助金やロータリークラブの募金活動で得た資金を元に、ロータリー会員が浄水、衛生教育、仮設トイレの建設、廃棄物管理を支援しています。

24ドル

一人に安全な水を提供
するのに必要なコスト

110校

ロータリーとUSAIDパートナーシップにより、質の高い衛生設備が利用できるようになったガーナの学校

2030年

安全な水と衛生設備を
すべての人が利用できる
よう、ロータリーが掲
げる目標年